

年間授業計画 新様式例

立川 高等学校 令和6年度（1学年用）

教科：保健体育 科目：保健

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者： 阿部

使用教科書： 現代高等保健体育（大修館）

教科 保健体育

教科

保健体育

科目

保健

単位数： 1 単位

の目標：

【知識及び技能】

健康についての基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

健康に関する課題に対して論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考え方を、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

健康に関する課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、主体的・継続的に取り組んでいる。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】

健康についての基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

健康に関する課題に対して論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考え方を、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

健康に関する課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、主体的・継続的に取り組んでいる。

科目	保健	の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	評価規準	知	思	態	配当時数
			健康についての基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。	健康に関する課題に対して論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考え方を、表現することができる。	健康に関する課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、主体的・継続的に取り組んでいる。					

1 学 期	単元名 現代社会と健康 【知識及び技能】 現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて知識・理解を深め、活用する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりなど、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組み、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 定期考査	健康の考え方と立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	【知識・技能】 現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて知識・理解を深めたことを言ったり、書いたりしているとともに、身につけた技能を活用できる。 【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。	○	○	○	11			
				○	○		1			
2 学 期	単元名 現代社会と健康 【知識及び技能】 現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて知識・理解を深め、活用する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりなど、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組み、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 定期考査	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症依・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	【知識・技能】 現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方などについて知識・理解を深めたことを言ったり、書いたりしているとともに、身につけた技能を活用できる。 【思考・判断・表現】 健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。	○	○	○	12			
				○	○		1			
3 学 期	単元名 安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会づくりについて知識・理解を深め、活用する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会について、自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりや適切な応急手当についての学習に主体的に取り組む。 定期考査	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	【知識・技能】 安全な社会づくりについて知識・理解を深めたことを言ったり、書いたりしているとともに、身につけた技能を活用できる。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりや適切な応急手当についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9			
				○	○		1			
							合計			35